



## 「第30回日本GWT全国研修交流会 in 東京」延期のお知らせ

コロナ禍お見舞い申し上げます。スッキリと晴れ渡った秋空の元、お元気に御活躍のことと思います。さて本日は残念な御報告とお詫びと再度お願いのお知らせです。

2020年9月20日理事会を開き、来年2021年1月開催予定の「第30回日本GWT全国研修交流会 in 東京」を延期することにいたしました。最後まで開催に希望を繋いでいましたが、コロナ禍での断念です。

### 【理由】

- ① 新型コロナウイルス感染症対策や注意を遵守しても万全とは言えないこと
- ② これから冬季に入り、12～2月がインフルエンザ流行シーズンと重なること
- ③ 地方の学校・福祉・自治体・企業関係者に出張許可が出ていないこと
- ④ 1年延期をしても第30回は変わらず開催可能なこと
- ⑤ 研修会より会員の健康と安全が優先なこと

お忙しい皆様のお身体とお時間と御予定を頂戴しておりましたので、リモート開催や会場を地方に変更等、色々な可能性を探ってみました。安全安心に集まっていただくことを選択し英断いたしました。

つきましては、念入りに準備を進めていた内容そのままに、**2022年(令和4年)1月9日(日)～10日(月祝)**〈8日(土)上級審査予定を含む〉同会場にて開催いたします。

スペシャルゲストの皆様にも延期のご容赦をいただき、2022年の御快諾をいただいています。運営委員に名乗り出てくださいている皆様や発表準備を進めていただいている支部や各発表者の皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、そのまま再来年に持ち越していただき熟考を重ねてくださると幸いです。再来年の開催に向けて若干の変更はあるかと思いますが、第1案を2021年ニュースにて概要をお伝えいたします。どなた様もご自愛いただき、普段から鍛えた人間力を発揮され逆境力を磨く良い機会と捉えて生き抜きましょう。このパンデミックの気づきを交換できる日を楽しみにしています!!

理事長 三好良子

## 総会延期のお知らせ

例年「全国研修交流会」期間中に開催をしてきました年次総会について、延期のお知らせとお願いをさせていただきます。総会における議事「事業報告・会計報告・事業案・予算案・その他」の審議項目について、**4月協会ニュース送付時に書面にてお送りします**。質問やご意見についてはメール・ファックスで承り、承認していただく形式を取らせていただきます。コロナ禍における総会開催方法について、ご理解とご承認をくださいますようお願いいたします。

## 学習会中止、講習会延期のお知らせ

2020年12月12日(土)～13日(日)学習会GWT特別セミナー(理事会日も含む)→中止

2021年2月6日(土)～7日(日)初級アドバイザー養成講習会→延期 **2022年2月5日(土)～6日(日)**

2021年2月13日(土)～14日(日)上級アドバイザー養成講習会B→延期 **2022年2月12日(土)～13日(日)**

【但し2021年特別開催も検討中。上級アドバイザー養成講習会Aについては来年度事業で開催を計画】

## ながの支部「初級アドバイザー養成講座」開催 犬飼己紀子 事務局長

令和2年2月22日からの2日間、残雪に生えるアルプスの山々を眺める梓水苑を会場に、初級講座を開設しました。受講者は、保育所管理栄養士・中学教師・育成会ボランティア(会社代表)・公務員・大学教師等に合わせ、学び直しのユニークな受講者達、

総勢13名です。遠方からの参加者の宿泊が決まると、芋づる式に7名が手を挙げて、温泉・夕食・夜会付きのGWT三昧の2日間を過ごしました。

コンセンサス、役割討論会と進んだ2日目の実習では、通い参加者も負けず劣らず本領発揮、持ち寄った参加目的を超える土産を得て、それぞれの現場に戻って行きました。資格はさておき、グループで学ぶ手法を求める人が増えている、との感想を抱いた2日間でした。



## トピックス

### Youtube「脳トレたけちゃんねる」開設 竹中雅幸さん(長野県)



人と人をつなぎ、人々の心を元気にする活動を長年行ってきました。コロナ禍の中、人との関わりの大切さを伝えるには、どうしたらよいかと考え、画面越しではあるけれど、少しでも皆さんを元気づけたり、笑顔にしたりできないかと、Youtube「脳トレたけちゃんねる」を立ち上げました。

無理せず、自分のできる範囲で頑張っていきたいと思っています。よろしくご指導ください。

### 新財GWT掲載月刊誌のご紹介 三好良子 理事長

2020年は、5月「フォロー研修」、7月「夏の学習会」、11月「全国レク大会」、12月「特別セミナー」等の学びの場で、新財をご提供する機会を失いましたので、紙面ながら4つ御紹介します。掲載記事の依頼が毎年恒例になりつつある明治図書『授業力&学級経営力 2020年5月号 NO.122』【すぐに使える学級あそび&学習ゲーム SPECIAL 完全保存版】《自己紹介から感情のコントロールまで 目的別・学級あそびベスト50》〈グループで協力する良さを知る〉に掲載されています。2つの財は既に皆様のお手元にある副読本『燦々』(自費出版)の中に載せた財を出版社からリクエストされ掲載。1つの財は、現在波に乗っている竹中雅幸さん(上記記事を参照)の『たけちゃんの脳トレコミュニケーションゲーム』小冊子PRの意味を込めてシークワーズのアレンジ版で野菜篇。新財は「いたずら書きワーク」を載せました。

ご希望の方は出版社ではなく三好に直接mailでお申込みください。miyoenjoy@jcom.zaq.ne.jp 直ぐに郵送させていただきます。

掲載月刊誌の発売以降もコロナ関連の新財を沢山創案いたしました!皆様と御一緒に体験ができる日を楽しみにしています!!





## 新たに上級アドバイザーが誕生しました

### 曾我克美さん（東京都）紹介



GWTで出会った魅力あふれる面々に憧れ、自分もその魅力を身につけたい一心で（今思うと魔がさしたとしか思えないのですが）身の程も考えず上級審査にチャレンジしました。

しかしその直後から世の中が激変してしまいました。事態が深刻化するにつれ、限られた人間関係の中でウィルス対策に振り回される毎日が始まりました。閉塞感が漂う中で人との触れ合いに飢えている自分。過去に積み重ねてきたことに思った以上に執着している自分。新しい方向に素早く舵を切り替えられない自分。負の感情が優位になり共感やフィードバックが疎かになる自分。頭ではわかっているけれど素直に行動に移せずもがいている不甲斐ない自分がいました。

これからも続くであろうこの状況は、未熟者の私にとってはまさにトレーニングの場です。早く気持ちを整えてこれまでの自分を挽回すべく行動したいと考えています。

### 貝川直子さん（愛知県）紹介



三好先生との出会いは平成24年夏に受講した初級アドバイザー講座でした。当時私は小学校教員をしており、公私ともに悩み多い時期でした。受講後GWTの魅力に取りつかれ、上級試験を受ける資格を得ました。その頃、一人暮らしの母の具合が悪くなり、母を引き取り、仕事を退職しました。教員時代に取得した資格を生かして、新しい道を模索し始めました。残念ながら、GWTと距離を取らざるを得なくなりました。その後数年を経て、頼まれた仕事がグループワーク試験の採点者でした。必死にグループワークを行っている若者を見て、GWTの体験を思い出し上級試験への気持ちが湧きあがってきました。私がかねてから、心理的な深まりを感じるワークに挑戦したいと考えていました。自分自身がわからなくて戸惑っていた自分がいたからです。福井の上級試験では大変貴重な体験をすることができました。GWTの出会いに感謝し、今後も研鑽を続けていきたいと思えます。

## 支部からのたより



### 島根支部

レポート 木村真介

島根県で初めて初級アドバイザー養成講座を開催したのは、2011年11月です。参加者は12名（教員、公民館職員、レク有資格者、大学生）。ほとんどが初めてGWTを体験するメンバーでしたが、GWTの魅力と可能性を実感しました。このメンバーが知り合いにGWTを紹介し、翌年12月に8名の参加者で第2回目の初級アドバイザー養成講座を開催しました。島根支部は、この2回の講座参加者を会員として2013年9月に設立しました。以来年1～2回初級アドバイザー養成講座を開催し、2019年までの11回の講座に参加された方は76名（新規参加者の数＝島根支部の会員数）になりました。少しずつですが島根でもGWTの愛好者が増えています。

2015年1月には第24回日本GWT協会全国研修交流会を松江市で開催しました。全国研修交流大会を島根で開催することが1つの目標でしたが、島根のメンバーは全国から参加してくださった皆さんから多くの刺激を受け、今の活動につながっています。2019年からは2月に学習会を開催しています。最初の講座開催から10年、1歩ずつですが続けていくことでGWTの魅力を伝え、仲間を増やしていきたいと思えます。



## わたしとGWT 八波 直樹さん(島根県)

「人は人の中で関わり合いながら育つ」

これは私が最初のGWT研修会を通して学んだことです。あえて「関わり合いながら」を強調したのは、研修会に私が参加する前は「人は人の中で育つ」と考えていたからです。後者の中には「関わり合いながら」という文言はありません。

しかし、「関わる」ということを完全に無視しているわけでもありません。それは自明のごとく感じていたことだったのであえて文字として書き起こしていませんでした。

「関わる」という言葉には自分主体のイメージがありますが、「関わり合う」ということは自分と「他者」の存在が必要になってきます。その「他者」は誰一人として同じ人はいません。様々な価値観を持っている人と「関わり合う」ことでその人の良さが分かり、他者理解を深めていくことにつながります。他者理解を深めることで、「自分ってどんな人?」とか「私ってこんな人!」と気づくチャンスになり自己理解が深まっていきます。

中学校教員になって今年で9年目になりました。私の教師としての追求課題は「人間関係づくり」です。なぜなら、日本の学校教育は一つの所属集団(学級集団)が基盤となって授業が進められたり、様々な行事や課外活動を行ったりするからです。このGWTという手法は毎年自分の学級経営に活用させていただいています。今後も生徒や学級集団の実態に合わせて取り入れて、生徒同士、あるいは生徒と教師の良好な人間関係を構築できるように努力していく所存です。



## 環境学習×アクティブ・ラーニングにGWT活用 鯖戸善弘(愛知県)

学校教育は、学習指導要領が改訂されて、「主体的で対話的な深い学び」を推し進めるためにアクティブ・ラーニングの活用が進められています。岐阜県内のS高校の先生からの環境学習にアクティブ・ラーニングを活用した場合の進め方をアドバイスいただきたいというオーダーをいただきました。

環境学習プログラムの「川を汚したのは誰だ」という財を活用しながら、自分の考えを自分の言葉でメンバーに伝え、環境問題について理解を深めていくために教員はどのような視点が必要なのかを学ぶようにしました。知識学習をする先生にとって、つついコンテンツにひかれる中で、人間関係やクラスの雰囲気(プロセス)がどうなっているのかを観る力を養いました。



### 年会費納入のお願い

当協会は、会員皆様方一人ひとりの会費収入が貴重な協会運営の財源です。つきましては、年会費4,000円の納入をお願いいたします。振り込がお済でない方、速やかにお願いします。

#### ●ゆうちょ銀行振り込む場合の口座

ゆうちょ銀行 00750-9-68684

\*ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へ振り込んでいただく手数料がお得です。

#### ●他金融機関から振り込む場合の口座

当座 〇七九店 0068684

### 編集後記

VUCAの時代、先の見えない時代への対応が求められると言っていた矢先に、コロナ禍に見舞われました。日常生活、仕事、余暇活動と、今までとは違うかたちを切り開いていかなばなりません。その対応力が我々に問われます。

GWTについても、展開方法の開発が求められます。GWTで養った人間関係力を駆使して、周りの人を巻き込み協調的に進めていきたいと思います。ますますGWTで養う人間関係力が求められる時代になって来るのではないのでしょうか。